

号外

2024

夏号

DAIGO

# REPORT



株式会社 大五

〒550 - 0011 大阪府大阪市西区阿波座2丁目4番23号 西本町大五ビル

夏の本格的な暑さを目前にしまして厚生労働省から、『建設業では熱中症による死者が突出している』というショッキングなデータが公表されました。

今年の夏も例年以上の猛暑になりそうだという予測が出されており、そのための警告という意味で発表されたようです。

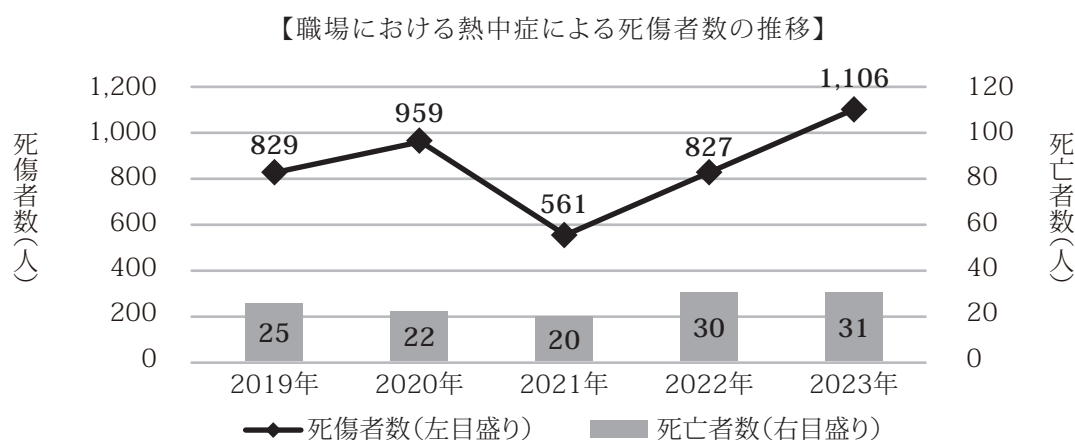
高温化は日本だけではなく北半球全体で発生しており、6月16日にはサウジアラビアでイスラム教の巡礼者の中で2,700件以上の熱中症事例が発生したと報道されていましたが、翌日の17日には気温51.8度という高温を記録しています。さらにインドネシアでも16日の1日だけで136人の巡礼者が亡くなったと報道されたり、ヨルダンでも14人の巡礼者が亡くなったとされるなど、暑さによる熱中症被害が各地から報道されています。

建設業界も、人手不足・就業時間規制・高齢化などの課題を抱えていますが、今年はさらに暑さ対策も急務の課題となります。

貴重な現場就業者を守るために、いつも以上に暑さに気を配ったスケジュールや工事方法とする必要があることから熱中症を特集した号外を発行しました。

## 1. 熱中症による死傷者の実態

厚生労働省による『職場での熱中症による死亡者及び休業4日以上の上業務上疾病者』の実態を見ますと、下のグラフのようにコロナのピークであった2021年は減少していますが、死傷者数が一貫して増加傾向にあることがわかります。



昨年は初めて死傷者数が千人の大台を超えていますが、今年は昨年以上に暑い夏となることが予測されており、暑い夏を控え厚生労働省も注意喚起ということから発表されたものといえます。

気象庁から出されている夏の3か月予報を見ましても、『予想される向こう3か月(2024年7月～9月)の天候は、平均気温は北日本で高い確率50%、東・西日本で高い確率60%、沖縄・奄美で高い確率70%』とされており全国的に高くなると予想されています。

気象庁が発表した7月以降の3か月予報を近畿地方に絞り見てみますと、

✓7月：前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。後半は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

✓8月：平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

✓9月：天気は数日の周期で変わるでしょう。

とされており長期予報ですので非常にあいまいな表現がなされていますが、7月後半以降、晴れの日が多く続くことで暑い夏になると推測されています。

ご存じのように熱中症とは、高温多湿な環境に長時間いることで、体温の調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態に陥り(体温が上がります)、貧血時のように頭がクラクラした状態から始まり、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、めまい、けいれん、頭痛などの様々な症状を起こす“病気”をいいます。

症状の度合いにより3段階に分類されており、

I 度：現場での応急処置で対応できる軽症

一般的に立ちくらみ(脳への血流が瞬間的に不十分になったことで生じる)といわれる症状。

II 度：病院への搬送を必要とする中等症

頭痛、気分の不快、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感がでます。

III 度：入院して集中治療の必要性のある重症

意識障害、けいれん、手足の運動障害を起こします。

と定義されています。

また熱中症は屋外だけでなく、室内で何もしていないときでも発症することがあります。

厚生労働者から発表された業態別の熱中症の死傷者数は下の表の数字であり、建設業における熱中症の発症者が多いことがわかります。

#### 【熱中症による死傷者数の業種別の状況】

(単位：人)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	計
建設業	153 (10)	215 (7)	130 (11)	179 (14)	209 (12)	886 (54)
製造業	184 (4)	199 (6)	87 (2)	145 (2)	231 (4)	846 (18)
運送業	110 (2)	137 (0)	61 (1)	129 (1)	146 (1)	583 (5)
警備業	73 (4)	82 (1)	68 (1)	91 (6)	114 (6)	428 (18)
商業	87 (1)	78 (2)	63 (3)	82 (2)	125 (3)	435 (11)
清掃・と畜業	61 (0)	61 (4)	31 (0)	58 (2)	61 (0)	272 (6)
農業	19 (0)	14 (1)	14 (2)	21 (2)	27 (4)	95 (9)
林業	7 (0)	7 (0)	7 (0)	6 (0)	9 (0)	36 (0)
その他	135 (4)	166 (1)	100 (0)	116 (1)	184 (1)	701 (7)
計	829 (25)	959 (22)	561 (20)	827 (30)	1,106 (31)	4,282 (128)

※( )内の数値は死亡者数で内数である。

4月からの残業規制、就業者の高齢化、就業者そのもの人手不足といった課題と天候異変が重なり、さらに窮屈な日程や現場の労働環境への配慮不足などから発症者が多くなっていると推測されます。

## 2. 熱中症対策

熱中症を予防するには、

＜室内では＞

- ・扇風機やエアコンで温度を調節
- ・遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- ・室温をこまめに確認

＜屋外では＞

- ・日傘や帽子の着用
- ・日陰の利用、こまめな休憩
- ・日差しの強い日は、日中の外出をできるだけ控える

ということになります。さらに

＜からだの蓄熱を避けるために＞

- ・通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用
- ・保冷剤、氷、冷たいタオルなどでからだを冷やす
- ・こまめに水分を補給する

室内でも屋外でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分、スポーツドリンクなどを補給する。ということが必要です。こまめに休憩する、体を冷やす、水分や塩分・ミネラルを補給するなど常日頃言われていますが、仕事に集中しますとつい忘れがちになってしまうため、必ず複数人で仕事をし声を掛け合って休憩をとることが必要です。(1人しかいない場合、1時間～1.5時間ごとにタイマーをかけその合図で水分を補給することが必要です。)

## 3. 暑さ指数(WBGT)を確認し熱中症予防

環境省から“暑さ指数(WBGT指数)”という、熱中症を予防することを目的とした指数が発表されています。暑さ指数(WBGT)とは、人体と外気との熱のやりとり(熱収支といいます)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい『湿度、日射・輻射など周辺の熱環境、気温』の3つから算出した指標となっており、環境省のサイト(下記のURL)で検索した当日を含め3日分の暑さ指数を掲載しています。

([https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt\\_data.php](https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php))

暑さ指数は、28(嚴重警戒指数)を超えますと、熱中症患者が著しく増加することが判明しており、労働環境の指数としましては世界的にはISO7243、国内ではJISのZ8504「WBGT指数に基づく作業者の熱ストレスの評価暑熱環境」として規格化されています。

このWBGT指数(暑さ指数)を参考にすることで、熱中症の予防に有効な指標がえられることとなりますが、最終的には、現場で働く個々の職人さんがどこまで熱中症への意識を高く持てるかということが大切です。

常日頃から『熱中症の予防のために、通気のいい場所で小まめに休むこと、小まめに水分補給をすること』を認識してもらう必要があります。

なお環境省のサイトでは、府県だけではなく、大阪府⇒能勢・枚方・大阪・生駒山・堺・熊取などと府県内の地点を選択することができますし、3時間ごとにデータが更新され指標の変化も把握できますので、活用することを社員さんや現場の職人さんに勧めてください。

